

# 杉森 女子1500メートル大会新V

## アジア陸上高2小林が銅メダル

【仁川(韓国)】新宮広万(陸上の第16回アジア選手権は1日、韓国・仁川市の文鶴競技場で開幕した。第1日は5種目の決勝が行われ、女子千五百メートルの杉森美保(京セラ)が4分12秒69の大会新で優勝、日本勢初の金メダルを獲得した。高校2年の小林祐梨子(兵庫・須磨学園高)は3位。女子一万メートルは佐藤由美(資生堂)が3分42秒11で2位。男子四百メートルの金丸祐三(大阪・大阪高)らが決勝に進んだ。男子内盤投げでエフサン・ハダディ(イラン)が65メートルのアジア新で優勝した。

女子1500メートルを大会新で優勝した杉森美保(右)と3位の小林祐梨子(右から3人目)＝金沢修撮影



## 貫録、先頭譲らず

日本女子の中距離種目は、世界との差が大きい。世界大会の標準記録突破者も少ない。そんな中、杉森がアジア第一人者の貫録を見せ、16歳の小林も大健闘。11歳離れたベテランと新鋭が実力を十分に発揮した。

杉森は一度も先頭を譲らない貫録のレース。最後の200メートルでカサフスタン選手に猛追されても「焦りはなかった」。相手が並んだ瞬間に引き離す頭脳的な走り。世界選手権(八百メートル選落ち)の疲れもあったが、

◇日本選手決勝記録…◇  
 【男子】▽円盤投げ ⑦畑山茂雄(セーリン)54歳93【女子】▽千五百メートル ①杉森美保(京セラ)4分12秒69【大会新】③小林祐梨子(兵庫・須磨学園高)4分14秒15▽一万メートル ②佐藤由美(資生堂)3分42秒11▽三段跳び ⑥吉田文代(秋田ゼロックス)13歳20▽砲丸投げ ④豊永陽子(TFARM)17歳07

熊本での直前合宿で調子を整えてきたのはさすがだ。

八百メートルの2冠を狙う杉森を目標にする小林も、高校生らしい積極性をしっかり見せ、「メダルが最低限の目標だった」と笑顔を見せた。猛暑の試合にしては記録的にもまずまずで「いい結果だと思う」と口をそろえた2人。ともに刺激しあい、レベルを上げていけばきっと、世界のトップとも互角に戦える日が来る。

(新宮広万)